

## 航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：長谷川 樹 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

# 航空安全に関わる体制を強化・拡充すべき！

## ～ 城井崇議員が斉藤国土交通大臣に強く要望！～

5月24日（金）、航空連合政策議員フォーラム事務局長の城井 崇（きい たかし）議員が、衆議院国土交通委員会で、1月2日羽田空港航空機衝突事故に言及しつつ、航空安全行政全般や事故調査に関わる航空連合の認識を踏まえ、斉藤国土交通大臣の見解を質しました。



城井 崇  
フォーラムメンバー  
(衆)

- 運輸安全委員会は事故調査報告までに1年半～2年の時間を要している現状を踏まえ、早急に予算と人員規模を拡充すべき。
- 航空安全情報自発報告制度（VOICES）を積極的に活用し、ヒヤリ・ハット事象の共有や、それを踏まえた改善を促進すべき。
- 航空管制官等の定員は約20年間で2割減少しているが、安全な航空交通利用を維持するためには増強すべき。

- 運輸安全委員会は、これまでも必要な体制確保を図ってきたが、**今後も事故調査が迅速かつ的確におこなわれるよう努めていく。**
- VOICESはこれまでも説明会等を通じて周知を図ってきたが、今後、**事故防止の事例集を新たに作成するなど、活用を促進**する取り組みを進めていく。
- 航空管制官等の定員は、今は逆に増やしている状況だが、**しっかりと拡充に取り組んでいきたい。**



斉藤 鉄夫  
国土交通大臣